

台所リモコン RC-4026M/4022M/4027M 設置工事説明書

工事をされる方へのお願い

台所リモコン設置の際には、この説明書をよくお読みになって正しい方法で設置し機器の性能を十分発揮できるようにしてください。

- (1) リモコンコードの接続は、必ず電源コード(漏電ブレーカー付)をコンセントから抜いて行ってください。機器が故障することがあります。
- (2) 設置工事に必要のないネジは、絶対に締め付けたり緩めたりしないでください。
- (3) 台所リモコンのコードには当社別売のGTS用リモコンコードMを用いてください。市販のコードを用いる場合は仕上がり外径4.1×6.2(長円)で、心線の公称断面積が0.5mm²のものを使用してください。
- (4) ネジ止めは必ず手締めでおこない、リモコンががたつかない程度に締め付けてください。

- ※ 電気ドライバー、インパクトドライバー等は絶対に使用しないでください。締め付けすぎると、リモコンが破損するなどの不具合が発生するおそれがあります。
- この説明書は必ずお客様へお渡しください。

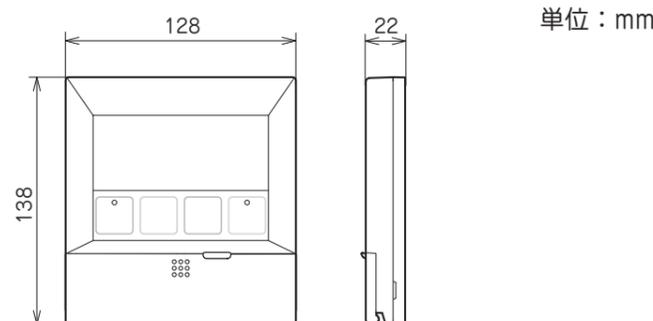
設置場所の注意

- (1) 台所リモコンは、絶対に浴室には設置しないでください。
- (2) つぎのような場所には設置しないでください。
 - ・ 温度が高くなる場所。
 - ・ 直射日光があたる場所。
 - ・ 水しぶき、油、ゆげのかかる場所。(給湯栓・ガスコンロ・炊飯器等の付近) 特に、ガスレンジ、ガスコンロの近くには設置しないでください。

1 付属部品の確認

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
台所リモコン		1個	壁掛金具		1個
オールプラグ(φ6×25)		2個	閉端接続子		2個
木ネジ(φ4.1×25)		2個	コードバンド		1個
トラスネジ(M4×5)		2個	コネクタコード		1個
Y型端子(V1.25-B3A)		2個	リモコン分岐コネクタ		1個

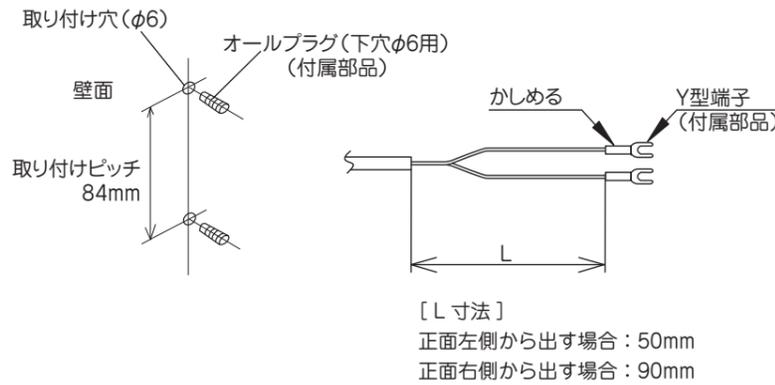
2 寸法図



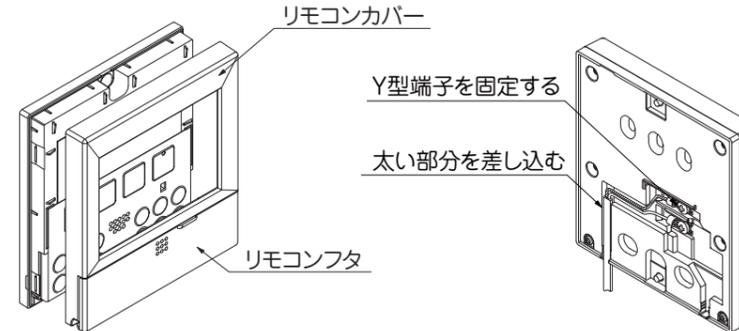
3 リモコンの取り付け

コード露出配線の場合

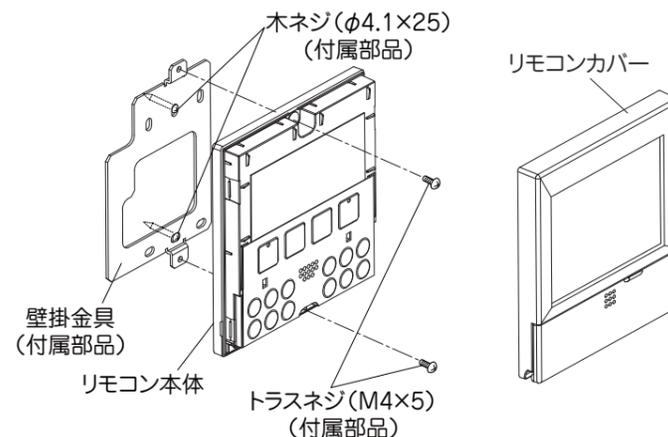
- (1) 取り付け位置の壁面にピッチ84mmで垂直に取り付け穴(φ6、深さ25mm以上)をあけ、オールプラグを打ち込む。
- (2) リモコンコードを加工し、Y型端子を取り付ける。



- (3) 壁掛金具を木ネジで壁に固定する。
- (4) リモコン表示部の保護シートをはがしてからリモコンカバーを取り外す。
- (5) リモコン裏面のコード取り入れ口を、ニッパなどで開ける。
- (6) リモコン裏面の端子にY型端子を固定する。(極性はありません)
- (7) 外側の太い被覆をスズ止め溝に差し込む。
- (8) 2心コードを溝におさめる。(ねじれないようにしてください)

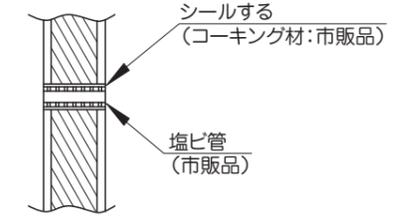


- (9) リモコン本体をトラスネジ(M4×5)で壁掛金具に固定する。
- (10) リモコンカバーを取り付ける。
- (11) 市販のコードステップルなどでコードを壁に固定してください。

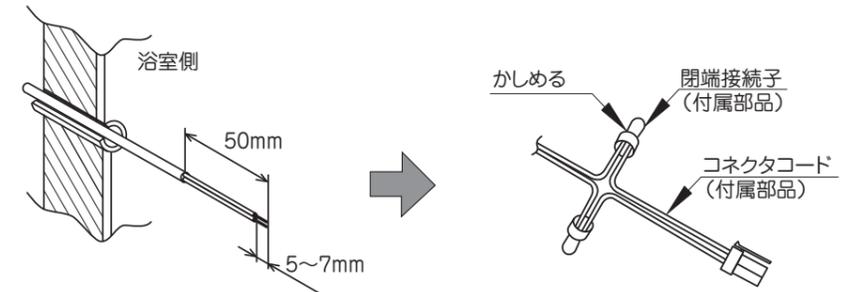


4 本体との接続

- (1) リモコンコードを取り入れる浴室壁に内径φ13mm以上の塩ビ管を埋め込んでください。
 - ・ 塩ビ管はVP13(外形φ18mm、内径φ13mm、下穴径φ20mm)が適当です。
 - ・ 水じまい処理として塩ビ管と壁の間をコーキング剤でシールする。
 - ・ 電源コード取り入れ口にリモコンコードを通す場合には内径φ26mm以上としてください。



- (2) リモコンコードを塩ビ管に通した後、付属のコネクタコードを閉端接続子で取り付ける。閉端接続子をかした後はコードを軽く引っ張り、コードが抜けにくいことを確認してください。



- (3) 付属のリモコン分岐コネクタをコントローラ側のコネクタに接続する。
 - ・ 既に浴室リモコンがコントローラ側のコネクタに接続されている場合は、浴室リモコンコードを取り外しリモコン分岐コネクタを取り付けてください。
- (4) リモコンを浴室リモコンコードと同じグロメット(前フレーム左下部)に通しリモコン分岐コネクタに接続する。
 - ・ グロメットのGTS用リモコンコードMを通す部分の薄皮は取り除いてください。
- (5) 前フレーム左下部に付属のコードバンドと機器本体に固定されているタッピンネジで固定してください。
- (6) コードの引き回しが終了した後で塩ビ管をコーキング剤でシールする。
- (7) コードは市販のコードステップルなどで浴室壁に固定してください。

